

りぼん

Vol. 8
2009.8

特集

う〜ん 深イイ川柳

新見版



作者からのコメント

「料理をできない人が無理をして料理に取り組むのではなく、まずは自分にできることから始めることが大切ではないか。」という思いから、「妻料理 おれは洗濯」としました。そして、夫婦の仲が良くないと男女共同参画は成り立たないと思い、夜は一緒に乾杯して仲が良い夫婦をイメージして「夜乾杯」としました。

応募作品から優秀作品 などをご紹介します！！



「市報にいみ」5月号および新見市ホームページで5月1日から6月10日まで、男女共同参画川柳を募集し、総計67点の作品を応募いただきました。

今回の「りぼん」では、応募いただいた作品のうち、りぼん編集委員が選出した入賞作品をご紹介します。

このほかの作品の一部についても、「市報にいみ」、「りぼん」で随時掲載していきます。

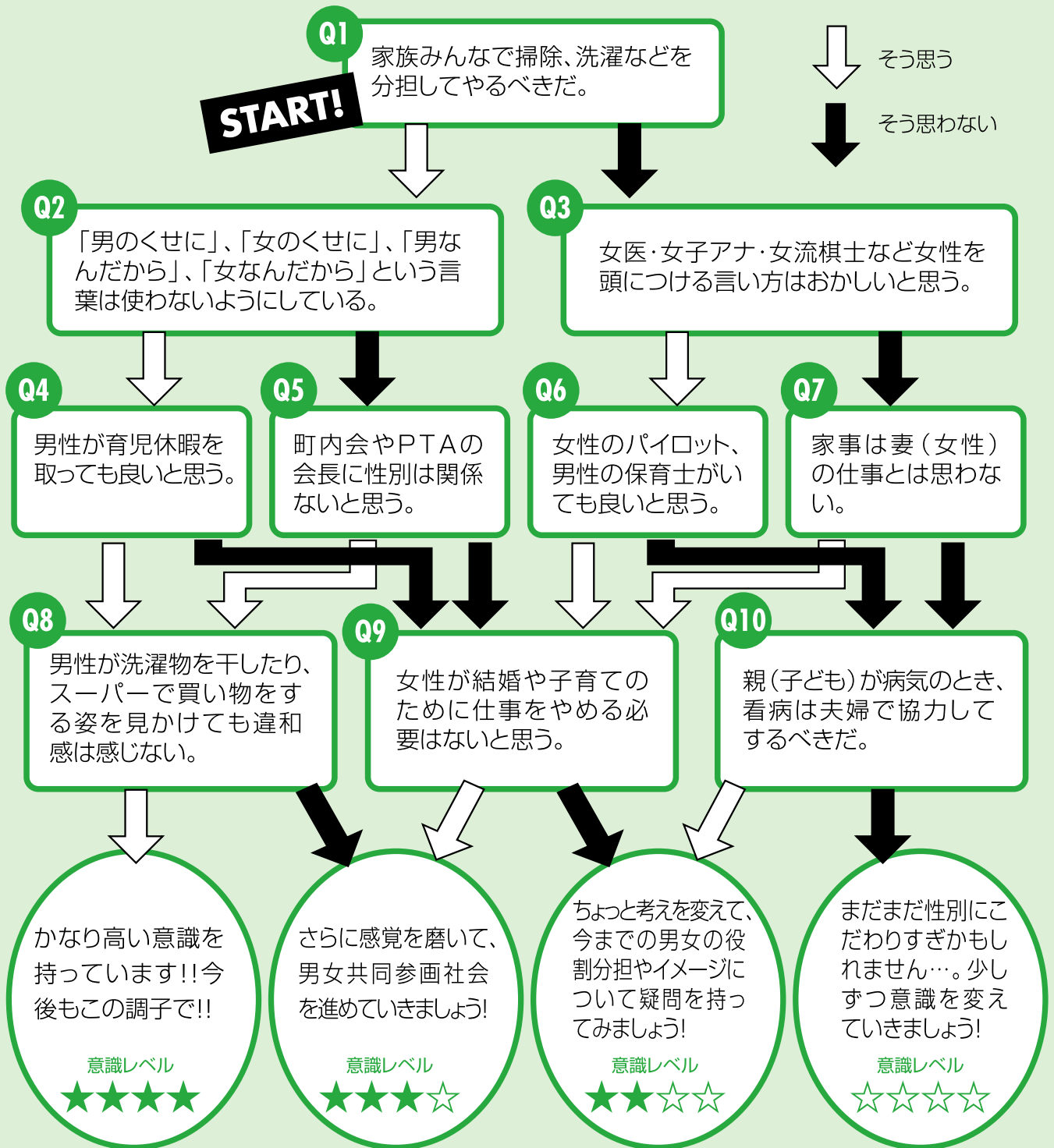
隠れずに 干してよ父さん 洗濯物
お替りは 父さん立って 飯を盛る
このミルク 何時もと違う 子供泣き
育休で しみじみ妻の 苦を感じ
家事のこと 家族みんなで 分け合って



父の日に エプロン送り あとたのむ
次子生まれ パパの子育て いたにつき
洗い上げ 二人でこなし あつとの間
主夫と主婦 家事分担で 留守まもる
協働の 始めの一步は 歩み寄り
交替で 食事を作り 味くらべ
参画も 一緒にやらねば 三角だ
男と女 読み方変えて 人と人
お父さん おにぎり弁当 ありがとう
子育ての 対話を明日の 詩にする
じゃんけん 家事当番 決める妻
夢開く 男女参画 世は平和
先づ会話 男女参画 家庭から
妻仮病 夫ウロウロ 台所
参画は 心で思わず まず実行
子育ては 家族みんなの 参画で
手伝うよ それさえ言わぬ わが夫

今回の「りぼん」では、作者名(ペンネーム)の紹介は、優秀作品の5点のみとさせていただきます。

あなたの男女共同参画意識度は？



編集後記

真夏の太陽の下、色鮮やかな花々が咲き、まるで自分達をアピールしているようです。

今年で男女共同参画基本法制定10周年を迎えました。いまでは、いろいろな事にチャレンジする機会が、男女を問わずみんなが平等にあると思いますし、周りの人達の助けを借りながらも、自分流の生き方が出来る時代になりつつあると感じます。特に、女性の意識次第で働くことへの選択範囲が広がっていると思います。

今回は、男女共同参画をより身近に感じて頂けるよう、川柳を詠んでいただきました。共同参画を「何か特別なこと」と難しく考えず、相手に対する思いやりや接し方を考えることが、参画への自然な流れになると思います。



川柳選定の様子